

豊能町総合まちづくり計画審議会（第4回）議事概要

日 時：令和3年6月23日（水）午後2時00分～4時19分

場 所：豊能町役場2階 大会議室

出席者：委員13名、事務局3名

傍聴者：5名

1. 《議事》豊能町総合まちづくり計画【基本構想】案について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①豊能町総合まちづくり計画【基本構想】案 第1章～第4章について（資料1）

(2) 主な質疑、意見

〔委員〕人口の将来展望について、推計の令和3年人口より、ホームページに載っている実際の人口の方が多く、減少率が鈍化している。鈍化した理由を分析して、計画に反映していった方が良いのではないかと。

〔事務局〕人口推計は国勢調査の数字を基準にしているが、実際の住基人口も把握している。確かに令和2年度は令和元年度に比べて社会減が大きく減っている。これまでの定住促進、シティプロモーションの効果とも考えられるが、年度によって大きな差もあり、複数年見ていかないといけないと思っている。

〔委員〕目標人口については、現実的な数字になっていると思うが、町民としては夢のあるような、例えば、2060年に人口1万人を割らないような目標が良いのではないかと。そういう意味で、目標人口は16,000人ぐらいが良いのではないかと。

〔会長〕推計は統計的にもきちんと予測すると出てくる数字。一方、まちの将来の夢として人口20,000人の町にしようという話は当然あっても良い。目標人口としてリアルな数字を書いていると同時に、将来的には15,000人の町を持続的に作っていくという記述があっても良いのではないかと。

(3) 以下の事項について事務局より説明があった。

①豊能町総合まちづくり計画【基本構想】案 第5章について（資料1）

(4) 主な質疑、意見

〔委員〕かなり整理されたという印象を持った。特に人口にシフトしていることを評価したい。ただ、目標人口はかなり厳しい設定だとは理解しているが、それ

でも10年後のスタートラインが15,000人だと、どんどん減っていく感じがする。もう少し上積みできるような戦略的、効果的な取り組みが考えられないか。

〔委員〕P.26“まちで働く人を応援”に「若者が起業にチャレンジしやすい環境づくり」とあるが、若者に限定しなくても良いのではないか。

〔委員〕同じところに「企業が参入しやすい規制緩和などを推し進め」とあるが、具体的にどんな規制のことを思っているのか。

〔事務局〕東地区は市街化調整区域がほとんどで、開発を推進していく地域ではない。ただ、何もしなければにぎわいも創出できないので、土地利用構想にも沿道整備ゾーンを設定している。ここの範囲の中であれば、誘致を考えていこうということ。細かい部分は、都市計画マスタープランや地区計画で記載していくイメージを持っている。

〔事務局〕起業にチャレンジしやすい環境づくりについては、重点課題にも上げている生産年齢人口の定住を考えて「若者」という表記にしているが、確かに若者に限定しなくてもいいと思うので、表現を改めさせていただく。

〔事務局〕目標人口については、公共施設の維持やあり方にも関わってくるので、人口推計に基づく現実的な15,000人とさせていただきたいが、下回らないようにするというのを、基本計画の施策で展開していくことにしたい。

〔委員〕安全・安心なまちづくりをするためには、人口が減ってもインフラをその人口に合わせて減らすことはなかなかできない。それなりの人口は確保していくべきだと思う中で、今の表現だと15,000人を目指しているように見える。表現は工夫した方が良くと思う。

〔委員〕12のプロジェクトだが、すでに具体的な活動などがあるのなら、それを伸ばしていくとか、何が欠けているのかとかを基本計画では整理していただきたい。具体的な動きがあれば、計画がより実行性の高いものになる。

〔委員〕基本指針に書いていることが、やや抽象的である。具体的に何をするのかといったことを書いてほしい。

〔事務局〕具体的なことについては、基本計画や個別計画で書き込んでいきたい。基本構想はあくまでも大枠での方向性を示すものだと考えている。

〔会長〕今日出てきた意見をもとに、次回までに事務局でしっかりと直しをかけてほしい。

2. 《議事》豊能町の将来像案について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①豊能町総合まちづくり計画 将来像案について(資料2)

(2) 主な質疑、意見

〔委員〕 4つの案から一つを選ぶのか。

(事務局) これまでの議論や意見を踏まえたものとなっている。4案の中から決めていただきたいと考えている。

〔委員〕 将来像は、3つの基本指針を実現したら、どんな将来になるかということだと思う。そうでないとつじつまがあわない。

〔委員〕 案1が良い。少しインパクトが足りないかなとは思いますが、人口が減ってくるのが一番の問題。豊能町に住んでいる人たちがどんどん参加していける、そして新しいところから人が来てくれる。これから住む人、住んでくれる人たちが協力して魅力を発信する。そういったことができるように思うので、案1が良いと思う。

〔委員〕 案1が相応しいと思うが、将来像なので体言止め。名詞で終わらないといけない。町の一番の問題が人口減少。今の生活がある程度維持するには一定の人口が必要になる。切実な課題に対して、将来像としては案1を軸に考えていければと思っている。

〔委員〕 「すきになる」という文言が良い。計画を作って終わりではなく、計画を実行していく中で、住んでいる住民一人ひとりがアクションしてもらうには、やはり町をどれだけ好きかということが関わってくる。自分の町を好きになって、良くしていきたいと思ってもらい、計画が形になっていくように、将来像は案1が良いと思った。

〔委員〕 人にインパクトを与えるものでなくても良いと思う。里山と緑が町のキーワードだと思っているので、案として「豊かなみどりと人が織りなす里山タウン とよの」を提案したい。

〔委員〕 案1だと、住宅都市になって発展の方向性が見えないと思う。委員の提案に賛成。緑は誰もが好きで、どこに行っても「豊かな緑」と書いてある。その中で「里山タウン」と言うのはユニーク。里山というのは、そばに山があったからというのではなく、生活の中に里山が使われたり、生活と結びついて山があったり、里山が交流人口の受け皿にもなる。

〔委員〕 魅力の一つとして里山は良いが、維持するにはお金がかかる。川西市黒川や能勢町などどこにでもあるが、黒川はお金をかけて手入れしているので差がついている。自然に保たれているようだが、手入れしなければ一日ずつ劣化していく。

〔委員〕 住んでいる方も豊かな緑を財産だと思って来られたと思う。大阪市内にないものがそれだと思う。ただ、高齢化している中で自立して生きていくには、高齢者こそITを使って便利な生活を続けることができるのではないか。豊かな緑の中のスマートシティはすごくギャップがあるが、そのギャップがま

ちづくりの目玉になる可能性もある。スマートシティのメリット・デメリットを教えてほしい。

〔委員〕スマートシティが悪いとは思わないが、これは何かを実現するための手段として部分的に採用すればいいのであって、スマートシティのために計画を作るわけではない。第一義に来るのは違うと思う。案4も違うと思う。案1が良いと思うが、少し足りない。好きになり続けてもらうために、どうしたらいいのかと言う言葉を添えた方がよい。

〔会長〕もっと議論が必要だが、今日は時間がないのでこれで終わる。

3. その他

（事務局）現在の進捗状況を鑑み、審議会の回数を1回増やし、7月、9月、11月に開催したい。次回は7月20日（火）午前10時から。第6回は9月15日（水）午後2時から。10月中にパブリックコメントを実施し、最終の第7回を11月16日（火）午後2時から開催する予定。

4. 閉会

（1）午後4時19分に閉会した。

本議事録にかかる会長の内容確認・署名

本議事録について議事内容と相違ないことを確認する。

豊能町総合まちづくり計画審議会会長

| |
|------|
| 会長署名 |
|------|